

政府公報

康德九年七月三十一日 第二千四百六十二號

目次 次江(新地役制度創設(新着) 訂正) 司法科高等官登記(特別登記) 公告 電法科高等官登記(特別登記)

省令

省令

三江省令第二十四號

茲將三江省軋瓦統制規則制定如左

康德九年六月二十七日

三江省長 蘆元善

三江省軋瓦統制規則

第一條 本令以調整三江省內軋瓦之需給圖品位之向上並適正價格之維持為目的

第二條 於本令所稱之軋瓦係指以粘土、煤或洋灰為主要原料所製造者而言

第三條 非受市長或縣長之許可不得於省內為軋瓦之製造並販賣但有特別情形者不在此限

擬受前項之許可者須將記載左揭事項之聲請書向營業所之該管市、縣長提出之

一 聲請人之本籍、住所、姓名及年齡(在法人時其代表者之本籍、住所、姓名及年齡)

二 商號、營業所在地、窯所在地及開業年月日

三 聲請人之略歷(在法人時其定款之證明)

四 資產狀況(在法人時其最近之貸借對照表、財產目錄及損益計算表)

五 窯之種類、窯數及年間生產能力

六 最近二年間生產及販賣之實績及營業稅之年額

七 使用勞動人數

八 營業之有無其種類及內容

第四條 受前條之許可者須於每市、縣結成軋瓦統制組合

雖受前條之許可者如非加入前項之組合亦不得營業

第五條 擬將市、縣內生產之軋瓦運出市、縣外時須受市長或縣長之許可但有特別情形者不在此限

擬受前項許可時須將記載左揭事項之聲請書二份提出於市長或縣長

一 聲請人之本籍、住所、姓名及年齡(在法人時其代表者之本籍、住所、姓名及年齡)

二 受貨人之本籍、住所、姓名及年齡(在法人時其代表者之本籍、住所、姓名及年齡)

三 種類別數量及價格

四 運出理由及運出期間

五 出貨地及受貨地

六 輸送方法

第七條 市、縣長認為有必要時得隨時徵求必要之報告或派所屬官吏臨檢工場、事業場、販賣所等處或檢查業務之狀況或帳簿書類其他物件

一 申請人ノ本籍、住所、氏名及年齡(市、縣長ニ提出スベシ)

二 商號、營業所在地、窯所在地及開業年月日

三 申請人ノ略歷(法人ニ在リテハ定款ノ寫)

四 資產狀況(法人ニ在リテハ最近ノ貸借對照表、財產目錄及損益計算表)

五 窯ノ種類、窯數及年間生產能力

六 最近二年間生產及販賣之實績及營業稅之年額

七 使用勞動人數

八 營業ノ有無其種類及內容

第四條 前條ノ許可ヲ受ケタル者ハ市、縣市、縣外ニ搬出セントスルトキハ市長又ハ縣長ノ許可ヲ受クベシ但シ特別ノ場合ヘ此ノ限ニ在ラズ

第五條 市、縣内ニ於テ生產シタル煉瓦ヲ持ヲ圖ルヲ以テ目的トス

茲ニ三江省煉瓦統制規則ヲ左ノ通制定ス

康德九年六月二十七日

三江省長 蘆元善

三江省煉瓦統制規則

第一條 本令ハ三江省内ニ於ケル煉瓦ノ需給ヲ調整シ品位ノ向上並ニ適正價格ノ維持ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本令ニ於テ煉瓦ト稱スルハ粘土、石炭骸又ハセメントヲ主要原料トシテ製造スルモノヲ謂フ

第三條 市長又ハ縣長ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ省内ニ於テ煉瓦ノ製造並ニ販賣ヲ

爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ場合ヘ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グ

ル事項ヲ記載シタル申請書ヲ營業所所轄市、縣長ニ提出スベシ

一 申請人ノ本籍、住所、氏名及年齡(法人ニ在リテハ代表者ノ本籍、住所、氏名及年齡)

二 荷受人ノ本籍、住所、氏名及年齡(人ニ在リテハ代表者ノ本籍、住所、氏名及年齡)

三 種類別數量及價格

四 搬出ノ理由及搬出期間

五 仕出地及仕向地

六 輸送方法

第七條 市、縣長必要アリト認ムルトキハ隨時必要ナル報告ヲ徵シ又ハ所屬官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第四條 前條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第五條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第六條 市、縣長必要アリト認ムルトキハ隨時必要ナル報告ヲ徵シ又ハ所屬官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第七條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第八條 市、縣長必要アリト認ムルトキハ隨時必要ナル報告ヲ徵シ又ハ所屬官吏ヲシテ工場、事業場、販賣所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第九條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十二條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十三條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十六條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十七條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十九條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十一條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十三條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十四條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十五條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十八條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第二十九條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十四條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十五條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十六條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十七條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十八條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第三十九條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十一條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十二條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十三條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十四條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十五條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十六條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十七條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十八條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第五十條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可ヲ取消シ若ハ營業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

第五十一條 第三條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長又ハ縣長ハ其ノ許可

三 將名義貸與他人時
四 其他市長及縣長認為於統制上或公益
上有必要時

第八條 違反第三條至第五條之規定者處三百圓以下之罰金、拘留或科料

第九條 不為依第六條規定之報告或為虛偽之報告或阻礙該管官吏執行職務者處拘留或科料

第十條 關於前二條之罰則適用依據康德五年勅令第二百二十五號關於適用行政法規罰則之件

第十一條 本令自康德九年七月一日施行

第十二條 本令施行之際現雖在營業中亦須依本令受營業之許可但限於本令施行後六十日得仍照從前繼續營業

第十三條 本令暫於佳木斯市（包含長發屯）、依蘭街、富錦街、鶴立街、蓮江口、通河街、千振街、湯原街、帶嶺、南叉及其近接十杆以內鶴立驛以北之地域適用之

第十四條 第四條之組合須於本令施行後三十日以內結成之並將添附左揭書類之聲請書二份提出於該管市、縣長受其認可

一 定款及業務規程
二 重要職員及組合員名簿
三 財產目錄及收支預算書

市、縣長為前項認可時須迅速報告省長

佈 告

經濟部佈告第一七一號

關於新地稅制度創設之件
為佈告事照得租稅制度之整備確立乃為國家

財政之根幹故我國自建國以來即斷行各種稅法之改廢而使其合理並於有機的租稅體系下力求負擔之適正惟對於地稅則因我國以農為立國之本故與土地制度有密切之關係是以自建國以來為期本制度之完璧會進行諸般準備與慎重之調查研究且一面對於地稅課稅基礎之地籍整備確立力謀促進迄今地籍整理事業已漸整備因之以此為楔機對現行地稅制度之缺陷加以根本是正而創設新地稅制度自本年份起按新地稅法課稅已於七月十六日公布施行在案其內容大致如左合亟佈告仰即周知俾完成決戰下國民重大義務之納稅責任是所厚望焉此佈

建國以來為期本制度之完璧會進行諸般準備與慎重之調查研究且一面對於地稅課稅基礎之地籍整備確立力謀促進迄今地籍整理事業已漸整備因之以此為楔機對現行地稅制度之缺陷加以根本是正而創設新地稅制度自本年份起按新地稅法課稅已於七月十六日公布施行在案其內容大致如左合亟佈告仰即周知俾完成決戰下國民重大義務之納稅責任是所厚望焉此佈

康德九年七月三十一日

經濟部大臣 蔡運升

計開

蔡運升

一 按新地稅法課稅之地域 按新地稅法課稅之地域原則為地籍整理完竣地域其地籍整理未完竣地域之課稅標準、稅率及納稅義務人仍按舊地稅法課稅

二 按新地稅法課稅之土地 按新地稅法課稅之土地為地籍整理完竣地域內之一切土地

三 課稅標準及稅率 新地稅法之課稅標準對於宅地及鑄泉地為登載於地稅臺帳之地價、對於旱田、水田等之土地為登載於地稅臺帳之收入價格其地價或收入價格以地籍整理時所設定之等級為基礎而算出者適用左列稅率賦課地稅

旱田、水田其他之土地 收入價格之千分之一
分之十

佈 告

經濟部佈告第一七一號

新地稅制度創設ニ關スル件
夫レ租稅制度ノ整備確立ハ國家財政ノ根幹

宅地及鑄泉地 地價之千分之一
旱田、水田、其ノ他ノ土地 收入價格
ノ千分ノ十

三 他人ニ名儀ヲ貸與シタルトキ
四 公益上必要アリト認メタルトキ

第八條 第三條乃至第五條ノ規定ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

第九條 第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ為サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ為シ又ハ當該官吏ノ職務ノ執行ヲ阻礙シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第十條 前二條ノ罰則ノ適用ニ付テハ康德五年勅令第二百二十五號行政法規ノ罰則

適用ニ關スル件ニ依ル

第十一條 本令ハ康德九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 本令施行ノ際現ニ營業中ノ者ト雖モ新ニ本令ニ依ル營業ヲ許可ヲ受クベシ但シ本令施行後六十日ヲ限リ從前通營業ヲ繼續スルコトヲ得

第十三條 本令ハ當分ノ間佳木斯市（長發屯ヲ含ム）、依蘭街、富錦街、鶴立街、蓮江口、通河街、千振街、湯原街、帶嶺、南叉及其ノ近接十杆以內並ニ鶴立驛以北ノ地域ニ之ヲ適用ス

第十四條 第四條ノ組合ハ本令施行後三十日以內之ヲ結成シ左ニ掲タル書類ヲ添附スル申請書二通ヲ所轄市、縣長ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ

佈 告

經濟部佈告第一七一號

新地稅制度創設ニ關スル件
夫レ租稅制度ノ整備確立ハ國家財政ノ根幹

宅地及鑄泉地 地價ノ千分ノ一
旱田、水田、其ノ他ノ土地 收入價格
ノ千分ノ十

康德九年七月三十一日

經濟部大臣 蔡運升

記

一 新地稅法ニ依ツテ課稅サレル地域 新地稅法ニ依ツテ課稅サレル土地ハ地籍整理ノ完了シタク地域デ地籍整理ノ完了シタク地域ハ課稅標準、稅率及納稅義務者ニ付テハ仍舊地稅法ニヨツテ課稅サレルモノナルコト

二 新地稅法ニ依ツテ課稅サレル土地 新地稅法ニ依ツテ課稅サレル土地ハ地籍整理事業ノ完了シタク地域内ニ於ケル一切ノ土地ニ課稅サレルモノナルコト

三 課稅標準及稅率 新地稅法ノ課稅標準ハ宅地及鑄泉地ニ付テハ地稅臺帳ニ登載サレタ地價、旱田、水田等ノ土地ニ付テハ地稅臺帳ニ登載サレタ收入價格ニ依テ課稅サレルモノデ其ノ地價又ハ收入價格ハ地籍整理ノ際設定サレタ等級ヲ基礎トシテ算出サレタモノデ次ノ稅率デ課稅サレルモノナルコト

四 納期 納期不間地籍整理完竣地域興否一律修正如左

自十月一日至十二月二十五日

五 地稅之減免 將舊地稅法之災歉地、災害地、改良地之減免稅規定加以合理的，是正於災歉地、災傷地、改良地之外新設新開地免稅之規定

六 申告 納稅義務人應將左列各項事宜向土地所在地之市、縣、旗長申告之，但地籍整理未完竣地域內之納稅義務人勿庸為第一款及第二款之申告

敘賜、任免及指敘

茲依康德八年勅令第一百七十三號國勢調查紀念章令授與左列各員國勢調查紀念章

康德八年七月七日

鄧徐顧藤孟王劉尹張班張艾方祁張胡王吉村栗于張永憲雅惟賢南九上充穗孫渡邊忠亮軒傅笠井三軒八太次藩

趙奚傅三浦趙樹喜太郎南聲元非科明金林鈞次藩

秀緒升小田原健吉惠三森會華吉惠三郎南聲元非科明金林鈞次藩

(一) 持有依稅法第工條第二款至第七款規定之不課稅地者應將其旨意申告之

(二) 持有依舊地稅法第九條或第十條受到災害地或改良地之減免而其期間尚未屆滿者應將其意旨自稅法施行日起九十日以內申告之

(三) 納稅義務人不在土地所在之市街或縣旗內居住時應選定納稅管理人申告之

四 納期 納期ハ地籍整理事業ノ完了シタル地域ト否トヲ問ハズ次ノ如ク改正サレタルモノナルコト

自十月一日至十二月二十五日

五 地稅ノ減免 舊稅法ノ災歉地、荒地、改良地ニ對スル減免稅規定ヲ合理的ニ是正シ災歉地、災傷地、改良地ノ外ニ新開地免稅規定ヲ設ケタルモノナルコト

六 申告 納稅義務者ハ次ノ諸事項ヲ土地所在ノ市、縣、旗長ニ申告ヲ爲スベキモノナルコト但シ地籍整理事業未完了地域ニ於ケル納稅義務者ハ第一號及第二號

(一) 舊地稅法第九條又ハ第十條ノ荒地若ハ改良地ノ減免ヲ受ケ其ノ期間が満了シナイ土地ヲ有スルモノハ其ノ旨ヲ稅法施行ノ日ヨリ九月十日以内ニ申告スルコト

(二) 納稅義務者ハ土地所在ノ市街村又ハ縣旗内ニ居住シテ居ナイ時ハ納稅管理人ヲ定メテ申告スルコト

(三) 納稅義務者ハ土地所在ノ市街村又ハ縣旗内ニ居住シテ居ナイ時ハ納稅管理人ヲ定メテ申告スルコト

魯賈鶴劉張松市岡森星西張劉林崔張劉築藤近張呂劉鄭張李周山崎

田得仙宗書武平仁清振榮福論桂子春經文鼎希寶好一成洲濟武田昇英盛夫士芳華齋林伴福武儒立華獻

昌仁服祖王趙佟石下徐野吳沈王憲壽楊劉田張張智澤傅尹劉賈中保部川枝呂鳳鎮樹殿鴻祥紹敬寶子樹春印文續政夢保尚華末吉政沛一貞萱泰勳魁郎德清瑞卿則均祥新助風符啓豐巖衡華傑

王那馬道鹽荒宋劉呂喻赫張吳李徐周于郭王王片李孫萩原勝連雷岡田春

東連雲孝秋一治治二泉禎恩章義堯仲玉威賓文義勳瑞齋治傑武武良嘒

劉肅孫裴李趙雷劉劉史岩陳關李張王徐張和矢于劉三浦徐廷育紹

本源希毓春文占玉書換銘主耀慶景致志田野人錫太郎武民卿

清中治田武光森貴霆林麟武夫新玉田祥祿祥超孝弘龍良嘒

馬王馬劉王吳衣武李歐平梁潤呂趙吳梁寺石崔金郭張祖郭李邸楊

文德鳳蔭環成希遇元振冠鴻建全振凌希亘文文向殿璽

斌輔鳴章劬業仁作文良郎環已軍勛章勝高一江雲賢一廣林發卿庭

徐劉李百野鄭張金趙繆陳豐童吳陳邵劉張清陶小趙蘇吉熱汪孔趙劉馬崔凌郭于藏胡趙郎趙
武田孝春耀政十時先坡武郎雄明岐璞魁蔭文先山維惠傑武深廷嶺潔國夫第昆夫治桐一科臣甲路洲福邦筠賦墨敏文

池高于張李王貢飯蘇高劉陳郭陳孫劉林傅郎劉劉閩關王于谷劉韓邢張孫白費直高鈴李孔徐周王
知王景奉萬永沼殿宗毓伯憲學德蔭俊宗格東成作治麟德芝錫宗夕樹德全慶春從良水和龍新春崑忱治龍久榮雄綱信強幼時德哲岳忱崎山震功山全庭九修薈威林丸坡昇翻桐祥吾喜

大楠藤張常孟李于王丁阿荒寒趙吳岩王柴李並趙于內張辛山川牧豐三馬榮內李張閩馬王孫王
場本野效學樂昭文堯五光俊文正信利瑞井田木野光文丑忠雲十四玉紹柳太金福太得維
忠武元龜海山英洪光日郎豐雄周樹雄傑一英七敏澤郎厚鵬義壽郎保良英郎威祥祥慶增裕新
輔

本金佟森鈴平李徐杜趙王周李劉汪高重方藤蔡康張李王吳張甄山姚李王韓潤早佐佐石陳王羽張
田澤寶四大德世志純興興振景元萬慶致毓正福壽榮立玉川坂藤藤井連述漢
邦盛威十四建次弘二福一雄四興術芳勳起廣厚海甲德一賢七孚景泰中春學祥昌則泰棟賓田淳吉吾躬一明曹吉傑

郭李寺劉津八郭禡小姚曾王信松張周李王張張趙路蕭張楊朱高張安李戴王孫鮑李宋陳豐陳古河
田端谷出原下東樹隆孝德鎮四利洲屏平恕美雄城臣雄祥郎璋陽治書崑林群峯傑陽先江順和玉閣廷富爽來臣綽卿宗林昌淨餘正吉

伊劉劉李孫梁于鮑石秋松朱劉氏崔張遲中土孫朱胡山柴蒙尹吉王李陳瀨由森趙本周加王杜末徐
藤耕德之孟慶殿會魁忠義次耕薄藩超餘嵩堂芳男和郎翻沛勤全龍重保一翔陽藻清助泮斌治濤春厚雄如二枕信裕哲昇航次章

劉白李下大陳中高于福陳王小石張趙周陳蔣蔡張湯闢李劉孫劉藤秋張王中姜關小楊增張馬何
伊西島原田林原耀振治紹耕文保文鴻柏立子海志寶玉炳鳳成宗國伯壽有榮景八冠振
嘉市三國太聲華中一明平郎郎岳誠久甲夫郎儒鈞祥玉夫斌山賢山陞章歲章龍雄郎慶岩宰田義助通郎博金釗

張郭尹姜蘇永王石孫趙田朱野孫近張陳曾伊平孟王朱劉李楊劉田那吳白土張李孫胡吉金陳羅趙
廷新世德國戎德殿新彥治昭慶慶廷菱英賀景慶景玉雨寶慶適志永維襄乾
純臣志齊麟義梁超敵雨普羽郎一郎東中榮明治成周富村武青祥榮芝山田博珍璽中摩滿江倫達鉅

登録號次
(登録番號)

鑄區地址
(鑄區場所)

鑄業地籍

名稱

面積

(鑄業權者住所氏名)
登録月日

新嘉特別市大同大
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

吉林省
六二九

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
一條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

同右

同右

事由
(吉林省鑄業權登錄第二六九號鑄區分割)

吉林省
六三〇

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

同右

事由
(吉林省鑄業權登錄第二六九號鑄區分割)

吉林省
六三一

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

事由
(吉林省鑄業權登錄第二六九號鑄區分割)

吉林省
六三二

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

事由
(吉林省鑄業權登錄第三七八號鑄區分割)

吉林省
六三三

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併
依鑄業法處分者如左

吉林省
六三四

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併
依鑄業法處分者如左

吉林省
六三五

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併
依鑄業法處分者如左

吉林省
六三六

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併
依鑄業法處分者如左

吉林省
六三七

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併
依鑄業法處分者如左

吉林省
六三八

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併
依鑄業法處分者如左

吉林省
六三九

吉林省磐石
縣橫山村

海龍城區一六號一
二條一八段一三條

三單位七五

四陌三五阿二
街二〇七號

滿洲鑄業開發株
式會社

康德九、
二五

同

○阿一〇單位二

同右

同右

同右

同右

同右

同右

○鑄區之合併

●更正(訂正)		公報號數	頁數	段次	更正處	所數	誤	正	備考	報告之誤
事由 依鑄業法第三十條之規定取消鑄業權		三六八	奉天省海城	無	滑石	一〇畝	滑石	一〇畝	滑石	一〇畝
○鑄業權之取消 依鑄業法處分者如左		登錄號次	鑄區地址	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄物 名稱	面積	鑄物 名稱	面積
奉鑄舊		三六八	奉天省海城	無	滑石	一〇畝	滑石	一〇畝	滑石	一〇畝
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	登錄月日	鑄業權者住所氏名	登錄月日
奉鑄舊		三六八	奉天省海城	無	滑石	一〇畝	滑石	一〇畝	滑石	一〇畝
事由 鑄業法第三十條ノ規定ニ依リ鑄業權ヲ取消ス		同	同	同	同	同	同	同	同	同
二四三 三八八 三		自九行	大島國武以下四行刪除	未四	茲將通化省立	通化省立	通化省立	通化省立	通化省立	通化省立
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 六條四段二七條四	同	二單位五一 一陌六〇阿一	二單位五一 一陌六〇阿一	二單位五一 一陌六〇阿一	二單位五一 一陌六〇阿一
○鑄區更正 依鑄業法第三十條規定之處分者如左		登錄號次	鑄區地址	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者 姓名	登錄月日	鑄業權者 姓名	登錄月日
奉鑄舊		七二	縣前百寨村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
通化省		一九一	縣三岔子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄初名稱更正 依鑄業法處分者如左		登錄號次	鑄區地址	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者 姓名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者 姓名	(經濟部)登錄月日
奉天省		一四四八	縣牛心臺村	安東區一一號四條 二〇段	粘鐵火 金銀銅 鉛鐵鑄	一單位二五 八陌一六阿五	同	康德九、一八 同	康德九、一八 同	康德九、一八 同
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	安東區一一號五條 一九段六條一八段	同	三單位七七 四陌一五阿一	同	康德九、一八 同	康德九、一八 同	康德九、一八 同
安東省四		安東省四	萬家嶺村	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	一單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
奉鑄舊		七二	前百寨村	安東區二五號五條 四段六條四段五五	金銀重 石鑄	二單位五五 四陌五四二	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	前百寨村	安東區一一號四條 二〇段	粘鐵火 金銀銅 鉛鐵鑄	一單位二五 八陌一六阿五	同	康德九、一八 同	康德九、一八 同	康德九、一八 同
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	一單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
安東省四		安東省四	萬家嶺村	安東區二五號五條 四段六條四段五五	金銀重 石鑄	二單位五五 四陌五四二	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
奉鑄舊		七二	前百寨村	安東區一一號五條 一九段六條一八段	粘鐵火 金銀銅 鉛鐵鑄	三單位七七 四陌一五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	前百寨村	安東區一一號五條 一九段六條一八段	粘鐵火 金銀銅 鉛鐵鑄	三單位七七 四陌一五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 六條四段二七條四	同	二單位五一 一陌六〇阿一	二單位五一 一陌六〇阿一	二單位五一 一陌六〇阿一	二單位五一 一陌六〇阿一
○鑄區訂正 鑄業法第三十條ノ規定ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄物名稱訂正 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄物名稱訂正 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一
同、三四一		同、三四一	奉天省復縣	旅順區一號二十四條 四段	金銀銅 鉛鐵鑄	三單位二六 三陌五五阿一	同	康德九、一七 同	康德九、一七 同	康德九、一七 同
新鑄舊		八二	縣林子村	通化省臨江	海龍城區一〇號二 七條二段三段四段二八	煤	五單位一二 阿七八陌六〇	同	同	同
○鑄業權ノ取消 鑄業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ		登錄番號	鑄區場所	鑄業地籍	鑄物 名稱	面積	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日	鑄業權者住所氏名	(經濟部)登錄月日
奉鑄舊		七二	縣鶯落村	奉天省海城	無	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五陌四 阿一	苦土石 一六五	

公 告

司法科高等官特別適格考試

◎土地申報書提出期間

公牛

司法科高等官特別適格
考試

官、執行官、書記官、刑務官之一)

一 選擇語學(語學考查免除者應填載其種別、一年度及格證書號數)

一 被任用爲高等官試補之年月日

一 有無適用文官令第八十八條規定之希望

一 既往所受高等官特別適格考試之應試年度

一 茲擬應司法科高等官特別適格考試理合具備文件

報請

靈核施行謹呈

高等文官考試委員會委員長 公鑑

本籍

第二號書式(用紙美濃紙)

履歷書

姓名

年月日生

現住所

姓

年月日

學歷

官職號表級俸及現在之官職級

兵役關係

賞罰

其他宗運動教

照右開無訛

年月日

名印

● 司法科高等官登格考試

茲依文官令、文官考試規程及康德七年勅令第二百四十六號康德七年勅令第二百四十五號關於伴隨文官令中修正之件之施行調整現職者之件施行康德九年度司法科高等官登格考試特此公佈如左

康德九年七月

高等文官考試委員會委員長 武部 六藏

一 考試之種別

(一) 審判官及檢察官考試

(二) 執行官、書記官及刑務官考試

二 考試資格

受文官給與令另表第四表第一號俸給之委任司法官而在職三年以上且經本屬長官所推薦者

法官而在職三年以上且經本屬長官所推薦者

一 文官令第八十八條ノ規定適用ノ希望ノ有無

一 既往ニ於テ受ケタル高等官特別適格考試ノ應試年度

一 司法科高等官特別適格考試應試致度ニ付畫類相添ヘ此段及出願候也

(1) 在職年數之計算依康德七年勅令第二百四十六號關於伴隨康德七年勅令第二百四十五號文十五號文官令中修正之件之施行調整現職者之件第四條之所定

(2) 對於由外國官吏或國務總理大臣指定之機關之職員中任用者之在職年數依文官令第八十條第三項之規定將於外國之官吏在職期間或該機關之職員之在職期間視為於滿洲國官吏在職期間

三 考試方法

(一) 第一次考查

為勤務成績審查、執務能力、語學及學術考

查依左列方法行之

1 勤務成績之審查由該管分科會行之

2 執務能力之考查依筆試及口試由該管分

科會行之

3 語學之考查使應試者就其常用語以外之

滿語、日語、蒙古語及俄語中預選一種依

筆試及口試由本委員會行之但對於滿洲國

語學檢定試驗三等以上及格者適格考試或

登格考試及格者及康德七年十一月一日之

文官令修正以前之文官考試之語學考查及

格者免試之

4 學術考查就左列科目依筆試由本委員會

行之

甲 審判官及檢察官考試

必須科目

基本法、民法、刑法、東洋史、常識

選擇科目

經濟學、世界地理、商法、民事訴訟

法、刑事訴訟法、國際公法、國際私法

選擇科目使標試者預選二科目

官、書記官、刑務官ノ一ヲ記載スルコト

一 選擇語學(語學考查免除者ハ其ノ種別年

度及及格證書番號ヲ記載スペシ)

一 高等官試補ニ任用セラレタル年月日

一 文官令第八十八條ノ規定適用ノ希望ノ有無

一 既往ニ於テ受ケタル高等官特別適格考試ノ應試年度

一 司法科高等官特別適格考試應試致度ニ付畫類相添ヘ此段及出願候也

(1) 在職年數ノ計算ハ康德七年勅令第二百四十六號康德七年勅令第二百四十五號文十五號文官令中改正ノ件施行ニ伴フ現職者ノ調整現職者之件第四條ノ定ムルトコロニ依ル

(2) 外國ノ官吏又ハ國務總理大臣ノ指定スル機關ヨリ任用セラレタル者ノ在職年數第八十條第三項ノ規定ニ依リ外國ニ於ケル官吏在職期間又ハ當該機關ノ職員トシテノ在職期間ヲ滿洲國官吏在職期間ト看做ス

三 考試方法

(一) 第一次考查

勤務成績審查、執務能力、語學及學術考

查依左列方法行之

1 勤務成績之審查由該管分科會行之

2 執務能力之考查依筆記及口述ニ依リ當該分科會之ヲ行フ

3 語學之考查ハ滿語、日語、蒙古語及露語

ノ中應試者ノ常用語ヲ除キタルモノニ付

豫メ其ノ一ヲ選択セシメ筆記及口述ニ依

リ本委員會之ヲ行フ但シ滿洲國語學檢定

試驗三等以上ニ及格シタル者適格考試

登格考試ニ付筆記及口述ニ依リ

試驗三等以上ニ及格シタル者ニ對シテハ

之ヲ免除ス

4 學術考查ハ左ノ科目ニ付筆記ニ依リ本

委員會之ヲ行フ

必須科目

基本法、民法、刑法、東洋史、常識

選擇科目

經濟學、世界地理、商法、民事訴訟

法、刑事訴訟法、國際公法、國際私法

選擇科目ハ應試者ヲシテ豫メ二科目ヲ

官給與令別表第四表第一號ノ俸給ヲ受クル委任司法官ニシテ三年以上其ノ職ニ在リ且本屬長官ノ推薦アリタル者

文官給與令別表第四表第一號ノ俸給ヲ受クル

一 選擇語學(語學考查免除者ハ其ノ種別年

度及及格證書番號ヲ記載スペシ)

一 高等官試補ニ任用セラレタル年月日

一 文官令第八十八條ノ規定適用ノ希望ノ有無

一 既往ニ於テ受ケタル高等官特別適格考試ノ應試年度

一 司法科高等官特別適格考試應試致度ニ付畫類相添ヘ此段及出願候也

(1) 在職年數ノ計算ハ康德七年勅令第二百四十六號康德七年勅令第二百四十五號文十五號文官令中改正ノ件施行ニ伴フ現職者ノ調整現職者之件第四條ノ定ムルトコロニ依ル

(2) 外國ノ官吏又ハ國務總理大臣ノ指定スル機關ヨリ任用セラレタル者ノ在職年數第八十條第三項ノ規定ニ依リ外國ニ於ケル官吏在職期間又ハ當該機關ノ職員トシテノ在職期間ヲ滿洲國官吏在職期間ト看做ス

三 考試方法

(一) 第一次考查

勤務成績審查、執務能力、語學及學術考

查依左列方法行之

1 勤務成績之審查由該管分科會行之

2 執務能力之考查依筆記及口述ニ依リ當該分科會之ヲ行フ

3 語學之考查ハ滿語、日語、蒙古語及露語

ノ中應試者ノ常用語ヲ除キタルモノニ付

豫メ其ノ一ヲ選択セシメ筆記及口述ニ依

リ本委員會之ヲ行フ但シ滿洲國語學檢定

試驗三等以上ニ及格シタル者適格考試

登格考試ニ付筆記及口述ニ依リ

試驗三等以上ニ及格シタル者ニ對シテハ

之ヲ免除ス

4 學術考查ハ左ノ科目ニ付筆記ニ依リ本

委員會之ヲ行フ

必須科目

基本法、民法、刑法、東洋史、常識

選擇科目

經濟學、世界地理、商法、民事訴訟

法、刑事訴訟法、國際公法、國際私法

選擇科目ハ應試者ヲシテ豫メ二科目ヲ

選擇セシム

口 執行官、書記官(繙譯事務從事者ヲ含ム)及刑務官考試

必須科目

審判官及檢察官考試ニ同ジ

選擇科目

商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、不動產登記法、強制執行法、拍賣法、監獄法

選擇科目使應試者預選二科目

四 施行日期及施行地

(一) 執務能力、語學及學術考查依左列日程及時間表於新京行之

施行場所另向各應試者通知之

(三) 第二次考查

審判官及檢察官考試

(登 格)

日 期	時 間	自午前九時三〇分 至午前十一時三〇分		自午後二時三〇分 至午後四時五〇分	
十月十二日	月 基 本 法	常	識	東 洋 史	
十月十三日	火 民 法	選 擇 科 目	選 擇 科 目	選 擇 科 目	
十月十四日	水 刑 法	語 學 (筆 試)			
十月十五日	木 同	執務能力 (民事筆試)			
十月十六日	金 同	(刑事筆試)			
七月十七日	土 同	(檢察筆試)			
自十月十九日至十月二十四日	月 士	執務能力、語學 (口試)			

審判官及檢察官考試

(登 格)

日 期	時 間	自午前九時三〇分 至午前十一時三〇分		自午後二時三〇分 至午後四時五〇分	
十月十二日	月 基 本 法	常	識	東 洋 史	
十月十三日	火 民 法	選 擇 科 目	選 擇 科 目	選 擇 科 目	
十月十四日	水 刑 法	語 學 (筆 試)			
十月十五日	木 同	執務能力 (民事筆試)			
十月十六日	金 同	(刑事筆試)			
十月十七日	土 同	(檢察筆試)			
自十月十九日至十月二十四日	月 士	執務能力、語學 (口述)			

(二) 識見考查康德九年十一月下旬於新京行之

身、脫帽、正面之四寸像片背面自署攝照年月日、生年月日及姓名者

日期及場所另向各應試者通知之

五 報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書 (第一號樣式本人親筆者)

(二) 證歷書 (第二號樣式、本人親筆者)

(三) 像片 (報名前一年以內撮照之上半

六 應試票之交付

對於認為有應試資格者由該管分科會交付應試票

票

(一) 第一次及格者發表

第一次考查及格者姓名於康德九年十一月中旬以政府公報公告之同時經由該管分科會通知各及格者

選擇科目

商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、不動產登記法、強制執行法、拍賣法、監獄法

選擇科目ハ應試者ヲシテ豫メ二科目ヲ選択セシム

四 施行期日及施行地

(一) 執務能力、語學及學術考查ハ左ノ日程及時間表於新京行之

施行場所付テハ追テ應試者ニ通知ス

(三) 第二次考查

審判官及檢察官考試

(登 格)

日 期	時 間	自午前九時三〇分 至午前十一時三〇分		自午後二時三〇分 至午後四時五〇分	
十月十二日	月 基 本 法	常	識	東 洋 史	
十月十三日	火 民 法	選 擇 科 目	選 擇 科 目	選 擇 科 目	
十月十四日	水 刑 法	語 學 (筆 試)			
十月十五日	木 同	執務能力 (民事筆試)			
十月十六日	金 同	(刑事筆試)			
十月十七日	土 同	(檢察筆試)			
自十月十九日至十月二十四日	月 士	執務能力、語學 (口述)			

審判官及檢察官考試

(登 格)

日 期	時 間	自午前九時三〇分 至午前十一時三〇分		自午後二時三〇分 至午後四時五〇分	
十月十二日	月 基 本 法	常	識	東 洋 史	
十月十三日	火 民 法	選 擇 科 目	選 擇 科 目	選 擇 科 目	
十月十四日	水 刑 法	語 學 (筆 試)			
十月十五日	木 同	執務能力 (民事筆試)			
十月十六日	金 同	(刑事筆試)			
十月十七日	土 同	(檢察筆試)			
自十月十九日至十月二十四日	月 士	執務能力、語學 (口述)			

(二) 識見考查ハ康德九年十一月下旬新京ニ於テ行フ

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

五 出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書 (第一號書式、本人自筆ノモ)

(二) 履歷書 (第二號書式、本人自筆ノモノ)

(三) 寫眞 (出願前一年以内ニ撮影シタル上

六 應試票ノ交付

應試資格アリト認メタル者ニ對シテハ當該分科會ニ於テ應試票ヲ交付ス

票

(一) 第一次及格者發表

第一次考查及格者姓名於康德九年十一月中旬以政府公報ヲ以テ之ヲ公告スルト共ニ當該分科會ヲ通ジ各及格者ニ通知ス

二 第二次及格者發表

考試及格者姓名於康德九年十二月初旬以政
府公報公告之同時經由該管分科會對於各及

格者發給及格證書
第一號樣式（用紙美濃紙）

高等官登格考試應試願書
本籍

貼像片欄 現住所 所屬官署

高等文官考試委員會委員長 武部 六藏

年 月 日 生

寫眞貼附欄 現住所 所屬官署

年 月 日 生

一 考試ノ分科 司法科（審判官檢察官、執行
官、書記官、刑務官之一）

（二）執行官、書記官及刑務官考試

（三）執行官、書記官及刑務官考試

一 選擇語學（語學考查免除者應填載其種別、年
度及及格證書號數）

一 有無適用文官令第八十一條規定之希望

茲擬願司法科高等官登格考試理合具備文件報請
審核施行謹呈

高等文官考試委員會委員長 公鑑

姓 名 國

年 月 日

備考 從事於翻譯事務之書記官應於考試分科
書記官之下部填載「翻譯」字樣

第二號樣式（用紙美濃紙）

履 歷 書

本 籍 現 住 所

姓 名 國

年 月 日 生

（二）第一次考查
1 為勤務成績審查、執務能力、語學及學術考
查依左列方法行之
2 勤務或讀審查由該管分科會行之
3 執務能力之考查由該管分科會依筆試及
口試行之

4 語學之考查使應試者就其常用語以外之
滿語、日語、蒙古語及俄語中預選一種依
筆試及口試由本委員會施行之但對於滿洲
國語學檢定試驗三等以上及格者適格考試
或登格考試及格者及康德七年十一月一日
文官令修正以前之文官考試之語學考查及
格者免試之

（甲）審判官及檢察官考試
必須科目
基本法
民法或刑法（使應試者預選其一）
行之

學 職 歷
兵役關係 賞 其人
一 二 三 四
宗運特 普他 普他 普他
動教 能能能能

照右開無訛
年 月 日

名印

常識

●司法科高等官特別登格

（二）第二次及格者發表

考試及格者氏名ハ康德九年十二月初旬政府
公報ヲ以テ之ヲ公告スルト共ニ當該分科會

ヲ通シ各及格者ニ及格證書ヲ付與ス

第一號書式（用紙美濃紙）

高等官登格考試應試願書
本籍

寫眞貼附欄 現住所 所屬官署

年 月 日 生

一 考試ノ分科 司法科（審判官檢察官、執行
官、書記官、刑務官ノ一ヲ記載スペシ）

（二）執行官、書記官及刑務官考試

（三）執行官、書記官及刑務官考試

一 選擇語學（語學考查免除者ハ其ノ種別、年
度及及格證書番號ヲ記載スペシ）

一 文官令第八十一條ノ規定適用ノ希望ノ有無
私議

司法科高等官登格考試應試致度ニ付書類相添へ
此段及出願候也

年 月 日 生

右氏 姓 名 國

年 月 日 生

備考 翻譯事務ニ從事スル書記官ヘ標記書記
官ノ下ニ（翻譯）ト記載スルコト

第二號書式（用紙美濃紙）

履 歷 書

本 籍 現 住 所

姓 名 國

年 月 日 生

（二）第一次考查
1 勤務成績審查、執務能力、語學及學術考
查トシ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ
2 勤務成績審查ハ當該分科會之ヲ行フ
3 執務能力ノ考查ハ筆記及口述ニ依リ當
該分科會之ヲ行フ
4 語學考查ハ滿語、日語、蒙古語及露語
ノ中應試者ノ常用語ヲ除キタルモノニ付
豫メ其ノ一ヲ選擇セシメ筆記及口述ニ依
リ之ヲ行フ但シ滿洲國語學檢定試驗三等
以上ニ及格シタル者適格考試又ハ登格考
試ニ及格シタル者及康德七年十一月一日
ノ文官令改正以前ニ於ケル文官考試ノ語
學考查ニ及格シタル者ニ對シテハ之ヲ免
除ス

（イ）審判官及檢察官考試
必須科目
基本法
民法又ハ刑法
(應試者ヲシテ其ノ一科目ヲ選擇セ
シム)

學 職 歷
兵役關係 賞 其人
一 二 三 四
宗運特 普他 普他 普他
動教 能能能能

年 月 日

名印

常識

●司法科高等官特別登格

（二）第二次及格者發表

考試及格者氏名ハ康德九年十二月初旬政府
公報ヲ以テ之ヲ公告スルト共ニ當該分科會

ヲ通シ各及格者ニ及格證書ヲ付與ス

第一號書式（用紙美濃紙）

高等官登格考試應試願書
本籍

寫眞貼附欄 現住所 所屬官署

年 月 日 生

一 考試ノ分科 司法科（審判官檢察官、執行
官、書記官、刑務官ノ一ヲ記載スペシ）

（二）執行官、書記官及刑務官考試

（三）執行官、書記官及刑務官考試

一 選擇語學（語學考查免除者ハ其ノ種別、年
度及及格證書番號ヲ記載スペシ）

一 文官令第八十一條ノ規定適用ノ希望ノ有無
私議

司法科高等官登格考試應試致度ニ付書類相添へ
此段及出願候也

年 月 日 生

右氏 姓 名 國

年 月 日 生

備考 翻譯事務ニ從事スル書記官ヘ標記書記
官ノ下ニ（翻譯）ト記載スルコト

第二號書式（用紙美濃紙）

履 歷 書

本 籍 現 住 所

姓 名 國

年 月 日 生

（二）第一次考查
1 勤務成績審查、執務能力、語學及學術考
查トシ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ
2 勤務成績審查ハ當該分科會之ヲ行フ
3 執務能力ノ考查ハ筆記及口述ニ依リ當
該分科會之ヲ行フ
4 語學考查ハ滿語、日語、蒙古語及露語
ノ中應試者ノ常用語ヲ除キタルモノニ付
豫メ其ノ一ヲ選擇セシメ筆記及口述ニ依
リ之ヲ行フ但シ滿洲國語學檢定試驗三等
以上ニ及格シタル者適格考試又ハ登格考
試ニ及格シタル者及康德七年十一月一日
ノ文官令改正以前ニ於ケル文官考試ノ語
學考查ニ及格シタル者ニ對シテハ之ヲ免
除ス

（イ）審判官及檢察官考試
必須科目
基本法
民法又ハ刑法
(應試者ヲシテ其ノ一科目ヲ選擇セ
シム)

學 職 歷
兵役關係 賞 其人
一 二 三 四
宗運特 普他 普他 普他
動教 能能能能

年 月 日

名印

常識

選擇科目

經濟學
東洋史

自璣璫條約起至日俄戰間之諸問題

世界地理

東亞地理(日本、滿洲、中國)

民法(限於不選爲必須科目而應試者)

甲 民法第一編總則全部

但除第二章第一節第二款住所、

第三款不在及失踪、第三章物、

第四章第四節無效及取消、第五

節條件及期限、第五章期間

乙 民法第二編物權全部

但除第六章地役權、第七章典

權、第八章留置權、第九章第二

節權利質權

丙 民法第三編債權全部

但除第一章第三節多數債權者之

債權、第七節證券債權、第二章

第二節贈與、第四節交換、第六

節使用貸借、第八節雇傭、第九

節承攬、第十節懸賞廣告、第十

一節委任、第十二節寄託、第十

三節組合、第十四節終身定期金

第十五節和解、第三章事務管理

第四章不當利得

再於右開範圍外關於民法全體之

法的理論或有出題時

商法(限於不選爲必須科目而

應試者)

民事訴訟法

刑事訴訟法

十月十二日月基本法

十月十三日火民法

選擇科目

審判官及檢察官考試

日期

時間

自午前九時三十分

至午後二時三十分

自午後二時三十分

至午後四時五十分

常識

選擇科目

經濟學
東洋史

璣璫條約ヨリ日露戰爭ニ至ル間諸問題

世界地理

東亞地理(日本、滿洲、支那)

民法(必須科目トシテ受ケザル場合ニ限ル)

イ 民法第一編總則全部

但シ第二章第一節第二款住所、

三款不在及失踪、第三章物、第

四章第四節無效及取消、第五節

條件及期限、第五章期間ヲ除ク

ロ 民法第二編物權全部

但シ第六章地役權、第七章典權、

第八章留置權、第九章第二節權利質權ヲ除ク

ハ 民法第三編債權全部

但シ第一章第三節多數債權者ノ債權、第七節證券債權、第二章

第二節贈與、第四節交換、第六

節使用貸借、第八節雇傭、第九

節請負、第十節懸賞廣告、第十九

一節委任、第十二節寄託、第十

三節組合、第十四節終身定期金

第十五節和解、第三章事務管理

第四章不當利得ヲ除ク

尙以上ノ外民法全體ニ通ズス法的理論ニ關スル出題ヲ爲スコトアルベシ

商法(必須科目トシテ受ケザル場合ニ限ル)

民事訴訟法

刑事訴訟法

十月十二日月基本法

十月十三日火民法

選擇科目

審判官及檢察官考試

日期

時間

自午前九時三十分

至午後二時三十分

自午後二時三十分

至午後四時五十分

常識

國際公法

國際私法

選擇科目ハ應試者ヲシテ豫メ一科目ヲ含ム)及刑務官考試ニ

選擇科目

執行官、書記官(譯事務擔當者ヲ含ム)及刑務官考試ニ

十月十四日	水	刑	法	語	學	(筆試)
十月十五日	木	執務能力	(民事筆試)			
十月十六日	金	同	(刑事筆試)			
十月十七日	土	同	(檢察筆試)			
至十月二十四日	自十月十九日至十月二十四日	月	執務能力、語學(口述)			

日 期	時 間	自午前九時三〇分 至午前十一時三〇分	自午後零時三〇分 至午後二時三〇分	自午後二時五〇分 至午後四時五〇分	自午後四時五〇分 至午後四時五〇分	(特 登)
十月十二日	月	基	本	法	常	識
十月十三日	火	民	本	法	選、擇	科 目
十月十四日	水	刑	法	語	學	(筆試)

(二) 識見考査康德九年十一月下旬於新京行

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

(二) 識見考査ハ康德九年十一月下旬新

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書(第一號樣式本人自筆ノモノ)

(二) 履歷書(第二號樣式本人自筆ノモノ)

(三) 寫真(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身脱帽正面ノ手札型ニシテ裏面ニ撮影年月日、生年月日及氏名ヲ自署シタルモ

寫真貼附欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書(第一號樣式本人自筆ノモノ)

(二) 履歷書(第二號樣式本人自筆ノモノ)

(三) 寫真(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身脱帽正面ノ手札型ニシテ裏面ニ撮影年月日、生年月日及氏名ヲ自署シタルモ

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

(二) 第一次及格者發表
第一次考査及格者姓名於康德九年十一月中以政府公報公告之同時經由該管分科會通知各及格者發給及格證書

(二) 第二次及格者發表

考試及格者姓名於康德九年十二月初旬以政府公報公告之同時經由該管分科會對於各及格者發給及格證書

(二) 第一次及格者發表
第一次考査及格者姓名於康德九年十一月中以政府公報公告之同時經由該管分科會通知各及格者發給及格證書

(二) 第二次及格者發表

考試及格者姓名於康德九年十二月初旬以政府公報公告之同時經由該管分科會對於各及格者發給及格證書

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書(第一號樣式本人自筆ノモノ)

(二) 履歷書(第二號樣式本人自筆ノモノ)

(三) 寫真(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身脱帽正面ノ手札型ニシテ裏面ニ撮影年月日、生年月日及氏名ヲ自署シタルモ

寫真貼附欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書(第一號樣式本人自筆ノモノ)

(二) 履歷書(第二號樣式本人自筆ノモノ)

(三) 寫真(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身脱帽正面ノ手札型ニシテ裏面ニ撮影年月日、生年月日及氏名ヲ自署シタルモ

寫真貼附欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書(第一號樣式本人自筆ノモノ)

(二) 履歷書(第二號樣式本人自筆ノモノ)

(三) 寫真(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身脱帽正面ノ手札型ニシテ裏面ニ撮影年月日、生年月日及氏名ヲ自署シタルモ

寫真貼附欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

出願期限及應試手續

應試者ハ左ノ書類ヲ職務長官經由康德九年九月十日迄ニ各當該分科會ニ到達スル如ク高等文官考試委員會委員長ニ提出スペシ

(一) 應試願書(第一號樣式本人自筆ノモノ)

(二) 履歷書(第二號樣式本人自筆ノモノ)

(三) 寫真(出願前一年以內ニ撮影シタル上半身脱帽正面ノ手札型ニシテ裏面ニ撮影年月日、生年月日及氏名ヲ自署シタルモ

寫真貼附欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

日期及場所另向各應試者通知之

報名期限及應試手續

應試者應將左開書類經由職務長官提出於高等文官考試委員會委員長而於康德九年九月十日以前報到該管分科會

(一) 應試願書(第一號樣式本人親筆者)

(二) 履歷書(第二號樣式本人親筆者)

(三) 像片(報名前一年以內撮照之上半身脫帽正面之四寸像片背面自署撮照年月日、生年月日及姓名者)

貼像片欄
姓名
年月日生
籍
現住所
所屬官署

第一號樣式(用紙美濃紙)
司法科高等官特別登格考試應試願書

期日及場所ニ付テハ追テ各應試者ニ通知ス

第二號樣式(用紙美濃紙)

本籍

履歷書

姓名

現住所

學歷

姓 年月日生

茲施行康德九年度爲任用薦任官之司法部高等官、執行官、書記官及刑務官爲審判官及檢察官所行之考試特此公告如左

康德九年七月

法官特別考試 前野茂

委員會委員長 前野茂

官

一 考試資格

鷹任之司法部高等官、執行官、書記官及刑務官

二 考試方法

考試就左列科目依筆試及口試行之

民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、審判及檢察之實務

口試對於筆試之及格者行之

施行日期及施行地

(一) 筆試於新京依左列日程及時間表施行之

施行場所另向各應試者通知之

◎爲任用薦任官之司法部
高等官、執行官、書記

名

姓

年

月

日

時

間

自午前

九時三〇分

至午後

二時三〇分

自午後

零時三〇分

至午後

二時五〇分

自午後

四時五〇分

至午後

四時五〇分

自午後

二時五〇分

至午後

四

(二) 第二次及格者發表
考試及格者於康德九年十二月初旬決定後以
政府公報公告之同時對於各及格者發給及格
證書

第一號書式(用紙美濃紙)
應試願書

貼像片欄
本籍
現住所
所屬官署

姓
年月日生名

茲據應為任用薦任官之司法部高等官、執行官、書記官及刑
事官及刑務官為審判官及檢察官所行之考試理
合具備文件報告
謹此呈

法官特別考試委員會委員長 公鑑

年月日

第二號書式(用紙美濃紙)
履歷書
姓名

康德九年度總務廳滿系委任官第一種(行政官)
採用考試及格者如左
康德九年七月三十日
試務廳委員會委員文官考
松木俠

◎滿系委任官第一種採用
考試及格者

現住所

姓
年月日生名

(二) 第二次及格者發表
考試及格者ハ康德九年十二月初旬之ヲ決定
シ政府公報ニ之ヲ公告スルト共ニ各及格者
ニハ及格證書ヲ付與ス

第一號書式(用紙美濃紙)
應試願書

寫真貼附欄
本籍
現住所
所屬官署

姓
年月日生名

薦任官タル司法部高等官、執行官、書記官及刑
務官ヲ審判官及檢察官ニ任用スル爲ノ考試ニ應
試致度候ニ付書類相添ヘ此段及出願候也

法官特別考試委員會委員長 公鑑

年月日

第二號書式(用紙美濃紙)
履歷書
姓名

康德九年度總務廳滿系委任官第一種(行政官)
採用考試及格者左ノ如シ
康德九年七月三十日
試務廳委員會委員文官考
松木俠

◎滿系委任官第一種採用
考試及格者

現住所

姓
年月日生名

(二) 第二次及格者發表
考試及格者ハ康德九年十二月初旬之ヲ決定
シ政府公報ニ之ヲ公告スルト共ニ各及格者
ニハ及格證書ヲ付與ス

第一號書式(用紙美濃紙)
應試願書

寫真貼附欄
本籍
現住所
所屬官署

姓
年月日生名

右之通相違無之候也

法官特別考試委員會委員長 公鑑

年月日

第二號書式(用紙美濃紙)
履歷書
姓名

康德九年度總務廳滿系委任官第一種(行政官)
採用考試及格者左ノ如シ
康德九年七月三十日
試務廳委員會委員文官考
松木俠

◎滿系委任官第一種採用
考試及格者

現住所

姓
年月日生名

吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉
(應試番號)
六五五五四四三三一一二二一〇七六二一

稻梁蔣劉傅紀劉劉楊蔣陳魏雷李李劉許岳許武夏
(姓氏)
田慶恭天成鳳育壽永連震九魁雲廣永漢占德
健太郎國儉慧祥有仁桐華峰興三遠英海新晉銘邦鰲金

奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉吉吉吉
六六六五五五四四三二二二一〇三三一八七三二八六五三

赫王關曹呂張趙張徐王孫薛劉呂王美趙曹張王孫美
貴占廉子慶文孝連崑子述德景福克馨熙鳳世寶紹俊

祥鑑身章和鼎先波山超賢潤新成文齋文祥興村智武
錦錦錦錦錦錦奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉奉

九九五五五四四二一二二二〇〇九八八七七七
七一八一〇八七九一八五二一〇九三二一六五三

蘇馮赫穆蘇倪張趙苗王孫王呂戴溫干孫呂周劉劉
希國起福德鴻松成長志榮秉文治廷靜文鴻德永維廣

階忠舞吉山文樵三榮遠賓文山久霖泉魁圖全慶民才
濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱熱熱熱熱熱熱熱

四三三三三二一四三三二一六九六五三〇一八六
〇九六五四三六七六五四二一六九六五三〇一八六

臧高吳周宗何曹李關蘇崔姜李翟萬孟楊吳朱烏趙李
又中毅醒文景中世瑞永國維振俊榮紹書漢玉鴻秉

新和傑民清林文法金純藩峰傑賢久先田臣峰志忠儀
通通通通延延延龍龍龍龍濱濱濱濱濱濱濱濱濱濱

二二二二二二五二一〇五三四一三二二六五〇九七
八六三二一三五二一〇五三四一三二二六五〇九七

王吳劉王劉林白金龜朱董肅平房劉逸萬任耕萬李王
思景烈德英基水桂東延敏明沼國炳文福常雲景樹芝
石公

貴祥武毅華韓吉七烈王松吉喜林南成翰昭亭耀南江

○公示送達

康德九年控第一五號

康德九年刑第二一號

姓名	錢旭九	住居	性別
男	九住居	不明	男

右者因恐嚇被告事件於康德九年八月三十一日午前十時於佳木斯地方法院開庭公判應迄於定刻到前開場所
如無正當事由而不到時依刑訴法第七十八條得拘引之

康德九年七月十一日

佳木斯地方法院
審判長審判官 松井道夫

右爲證本
康德九年七月十一日

佳木斯地方法院
書記官 國啓蒙

姓名	楊和琴	性別
男	住	性別
所	不	明

右者因違反匯兌管理法被告事件於康德九年九月八日午前九時於新京地方法院開庭公判應迄於定刻到前開場所
如無正當事由而不到時依刑訴法第七十八條得拘引之

康德九年七月二十二日

新京地方法院刑事庭
審判長審判官 陳海韜

右爲證本

康德九年七月二十三日

新京地方法院
書記官 張雨田

國

康德九年刑第二一號

姓名	劉鉛尹	住居	性別
男	九住居	不明	男

右者因業務上侵佔被告事件於康德九年九月二十一日午前十時於伊通區法院開庭公判應迄於定刻到前開場所
如無正當事由而不到時依刑事訴訟法第七十八條得拘引之

康德九年七月二十日

伊通區法院
審判官 劉振民

右爲證本

康德九年七月二十日

伊通區法院
書記官 楊在山

國

康德八年刑第一八三號

姓名 袁國華
性別 男住居
不 明

右者因浮濫業務上侵佔被告事件於康德九年十月一日午前十時於本院開庭公判應迄於定刻到前開場所
如無正當事由而不到時依刑事訴訟法第七十八條得拘引之

康德九年六月三十日

牡丹江區法院
審判官 鄭漢清

右爲證本

康德九年六月三十日

牡丹江區法院
書記官 鄭國堯

國

18

廣 告

●商業登記

- 天德興合名會社變更
一康德五年六月二十三日社員出資履行之部分變更
更如左
王劍齋 國幣二千圓 全部履行
呂海珊 國幣一千五百圓 全部履行
王水德 國幣一千五百圓 全部履行
合資會社信昌公司變更
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更
更如左
無限責任社員 那須信次 金一萬六千三百二十圓
無限責任社員 蕭峻亭 金七千八百九十九圓
無限責任社員 王志庵 金四千二百圓 全部履行
無限責任社員 劉化章 金四千八百圓 全部履行
無限責任社員 那須秀次 金二千二百五十圓
有限責任社員 十七名 金三萬二千六百十圓
合資會社正益房產公司變更
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更
更如左
無限責任社員 孫岷峰 金二萬二千四百圓
無限責任社員 崔東昇 金二萬圓 全部履行
無限責任社員 那須信次 金二萬圓 全部履行
合名會社伊豫組變更
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更
更如左
峰八十一 金二十二萬圓 全部履行
峰 キン 金一萬圓 全部履行
峰 サト 金一萬圓 全部履行
合資會社設立
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更
更如左
平野喜左衛門 金一萬圓 全部履行
株式會社設立
一商號 満洲淺野スレート株式會社

一本店 奉天市鐵西區南二路四三番地

目的

一石綿石板之製造並販賣

二土木建築材料之製造並販賣及諸工程承攬

三附帶前記各項一切之業務

四對於前記各項一切之業務

一設立年月日 康德五年六月二十九日

一資本之總額 國幣一百萬圓

一株之金額 國幣五十圓

一就各株已繳納之株金額 國幣十二圓五角

一公告之方法 揭載於滿洲國政府公報爲之

一株之金額 國幣五十圓

一各株已付拂込ミタル株金額 國幣十二圓五角

一公告之方法 滿洲國政府公報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

一取締役ノ氏名住所

金子喜代太 東京市品川區北品川六丁目三八

七番地

淺野 八郎 東京市麻布區永坂町一番地

瀧山米太郎 東京市四谷區舟町一一番地

二宮 裕造 東京市荒川區日暮里町三丁目一

竹内 基 門司市大字門司七三四番地之一

代表會社之董事 金子喜代太、瀧山米太郎

一監查人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市澁谷區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

○番地

合名會社伊豫組變更

一康德五年六月二十五日社員出資之標的金變更

爲國幣

一監査人之姓名住所

乙竹 茂郎 東京市品川區總田三丁目一七一

番地

藤尾 仙次 西宮市津門字西芝八七一一番地

高森喜太郎 東京市品川區大井倉田町三二五

●合資會社丸通運輸公司變更。
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更如左

無限責任社員 鈴木銀之助 金一萬圓 全部履行

有限責任社員 二名 金五千圓 全部履行
同日社員出資之標的將金變更爲國幣

一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更如左

中谷時計店變更
中谷忠三郎 金十萬圓 全部履行

中谷 忠一 金三萬三千圓 全部履行
中谷 正 金二萬六千圓 全部履行
中谷 勤 金二萬一千圓 全部履行

中谷 金市 金一萬六千圓 全部履行
中谷コイト 金五千圓 全部履行

同日社員出資之標的金變更爲國幣

●合名會社九鬼洋行變更。
一康德五年五月二十八日左記者就任於滿洲國代表者

於滿洲國之代表者 越本賢三 奉天市大西關小什字街九一號

●滿洲棉花股份有限公司變更
一董事長孫奏庭董事齋藤茂一郎、孔楚材、陳克立康德五年四月二十五日辭任同日左記者就任
董事長及董事 同甲一號 劉夢庚 北京安定門內大興縣花枝胡同甲一號

董事 橫瀬花兄七 奉天市大和區加茂町八番地

董事 山口慶助 遼陽市本町八八番地

董事 李樹滋 錦州市東關二道街九二番地

一前同日監查人田村羊三、包士傑辭任左記者同日就任監查人

小川四郎 奉天市大西門裡路南四五番地
胡宗瀛 奉天市大西關陶然里一八號

●合資會社日本ミシン商會變更
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更如左

無限責任社員 平尾武雄 金一萬圓 全部履行

有限責任社員 二名 金二千圓 全部履行

●同日社員出資之標的金變更爲國幣。
一康德五年六月二十二日設立支店於左地
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

●世合公合名會社支店設立
無限責任社員 鈴木銀之助 金一萬圓 全部履行

有限責任社員 二名 金五千圓 全部履行
同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

一康德五年六月二十九日社員出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

●合資會社橫山洋行變更
無限責任社員 滅田甚太郎 金四萬二千圓
全部履行

中谷 忠一 金三萬三千圓 全部履行
中谷 正 金二萬六千圓 全部履行
中谷 勤 金二萬一千圓 全部履行

中谷 金市 金一萬六千圓 全部履行
中谷コイト 金五千圓 全部履行

同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

●合資會社大和屋洋品店變更
一康德五年六月二十九日社員出資履行之部分變更如左

無限責任社員 加藤佐太郎 金三千圓 全部履行
有限責任社員 三名 金二萬五千圓 全部履行

●合資會社中谷時計店變更
一康德五年六月二十五日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

中谷 忠三郎 金十萬圓 全部履行
中谷 忠一 金三萬三千圓 全部履行
中谷 正 金二萬六千圓 全部履行
中谷 勤 金二萬一千圓 全部履行

中谷 金市 金一萬六千圓 全部履行
中谷コイト 金五千圓 全部履行

同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

●合名會社森島吳服店變更
一康德五年六月二十五日社員出資履行之部分變更如左

森島 晃 金三萬圓 全部履行
森島直次郎 金二萬圓 全部履行
森島さいの 金一萬圓 全部履行

森島 晃 金三萬圓 全部履行
森島直次郎 金二萬圓 全部履行
森島さいの 金一萬圓 全部履行

●合名會社弘文堂書店變更
一康德五年六月二十七日社員出資履行之部分變更如左

宮阪德治郎 金五萬圓 全部履行
宮阪 ミツ 金二萬圓 全部履行
宮阪 二郎 金一萬圓 全部履行

宮阪 德治郎 金五萬圓 全部履行
宮阪 ミツ 金二萬圓 全部履行
宮阪 二郎 金一萬圓 全部履行

●合名會社高橋洋行變更
一康德五年五月二十五日社員出資履行之部分變更如左

無限責任社員 平尾武雄 金一萬圓 全部履行

有限責任社員 二名 金二千圓 全部履行

●合資會社丸通運輸公司變更
一康德五年六月二十五日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

●世合公合名會社支店設立
無限責任社員 鈴木銀之助 金一萬圓 全部履行

有限責任社員 二名 金五千圓 全部履行
同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

一康德五年六月二十二日支店ヲ左ノ地ニ設立ス
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

●合資會社橫山洋行變更
無限責任社員 滅田甚太郎 金四萬二千圓
全部履行

中谷 忠一 金三萬三千圓 全部履行
中谷 正 金二萬六千圓 全部履行
中谷 勤 金二萬一千圓 全部履行

中谷 金市 金一萬六千圓 全部履行
中谷コイト 金五千圓 全部履行

同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

●合資會社大和屋洋品店變更
一康德五年六月二十九日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

中谷 忠三郎 金十萬圓 全部履行
中谷 忠一 金三萬三千圓 全部履行
中谷 正 金二萬六千圓 全部履行
中谷 勤 金二萬一千圓 全部履行

中谷 金市 金一萬六千圓 全部履行
中谷コイト 金五千圓 全部履行

同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

●合名會社中谷時計店變更
一康德五年六月二十五日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

中谷 忠三郎 金十萬圓 全部履行
中谷 忠一 金三萬三千圓 全部履行
中谷 正 金二萬六千圓 全部履行
中谷 勤 金二萬一千圓 全部履行

中谷 金市 金一萬六千圓 全部履行
中谷コイト 金五千圓 全部履行

同日社員ノ出資ノ目的金トアルヲ國幣ト變更ス

●合名會社森島吳服店變更
一康德五年六月二十五日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

森島 晃 金三萬圓 全部履行
森島直次郎 金二萬圓 全部履行
森島さいの 金一萬圓 全部履行

森島 晃 金三萬圓 全部履行
森島直次郎 金二萬圓 全部履行
森島さいの 金一萬圓 全部履行

●合名會社弘文堂書店變更
一康德五年六月二十七日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

宮阪德治郎 金五萬圓 全部履行
宮阪 ミツ 金二萬圓 全部履行
宮阪 二郎 金一萬圓 全部履行

●合名會社高橋洋行變更
一康德五年五月二十五日社員ノ出資履行ヲ爲シ
支店 奉天市瀋陽區大南門裡路西門牌一三號

無限責任社員 平尾武雄 金一萬圓 全部履行

有限責任社員 二名 金二千圓 全部履行

